

弊社はヒノキやスギなど熊野に育つ植物を使ったエッセンシャルオイルやフローラルウォーターを製造するなど、香りで地域を残す「Re:aroma project」として伐採から抽出、製品化まで全行程を手掛けています。

業種 製造・小売 所在地 新宮市緑ヶ丘3-1-29 TEL 0735-22-0662 FAX 0735-22-0662

従業員 正規1名(男0:女1)

結婚・子育てのための取り組み 短時間勤務／変形労働時間勤務／時間単位の有給休暇／在宅勤務

WEB <https://www.m-affably.com>



既存の制度にとらわれない柔軟な制度で 子供の成長段階の悩みをバックアップ



幼児期だけでなく、大きくなってからも「子供最優先」の姿勢を大切に

弊社では徹底して「子供最優先」を掲げています。起業した頃は私(竹原さん)の娘が小学生で、子供との時間をどう作るか、どう過ごすかということが課題でした。幸い私は両親が近くに来てサポートしてもらえたのですが、決して社員みんながそうではありません。

子供が小さい頃は物理的に手がかかりますが、大きくなれば学校行事や習い事、受験など、年齢に応じて関わり方が変わってきます。また子供の成長と共に自身の親も年齢を重ねていきますので、子育てに加えて介護的な要素が出てくることもあります。その結果、お母さんはずっと忙し

いまとなってはまいがちです。そういったことへの対応として、弊社では「こうした」という希望を出してもらって調整するスタイルをとっています。例えば休みの希望があれば休んでもらいますし、子供のことで忙しいのであれば出勤を半分程度に減らすなど、サポートは惜しみません。休みや時間の調整などは言いづらいものですが、そのままではストレスが溜まるだけですので、こちらから雑談混じりに聞くようにしています。15分や30分抜けてもらっても、その方が集中して頑張ってもらえるのであれば問題ありません。周りからも無理をしないように支えていきたいです。

いまとなってはまいがちです。

もし子供を産むのにタイミングを考えているような社員がいれば、「大丈夫だから、気にしないで」と言ってあげたいです。少数な分フットワークが軽く、サポートしやすいのが持ち味なので、これからも就業規則の見直しを続けて、より良い環境をつくってきたいと思っています。

子供を優先させてくれるので有難い



代表取締役/竹原 真奈美さん 取締役/堀 由起さん

解消したい課題

どの段階でも子育てには急な対応が発生する

- 休みや早退など、育児に関する相談を申しづらい。
- 融通がきかないことで配偶者からのクレームがある。
- 子供が成長してからも休みが必要になる事が多く、対応しづらい。

課題への取り組み

柔軟に対応できる体制を構築

- 事前に年間の学校行事や必要になってくる休みのことを聞いておく。
- 雑談混じりで状況や要望を聞くようにし、必要に応じて時間単位で有給休暇などを取ってもらうよう積極的に勧める。
- 休みなどの申告があれば調整し、社員間でサポートする。そのためにも日頃のコミュニケーションが重要。
- 必要に応じて在宅勤務も行えるように整備。

導入成功のアイデア

- 家族を招いて事務所でBBQなどの親睦イベントを開催することで、子供や配偶者と顔を合わせておけるので、学校からでも子供が立ち寄りやすい場所になり、配偶者も協力的になってもらえるなど、仕事への理解が生まれました。

導入の成果

急な休みも安心できるように

- あらかじめ休みの予定を立てておけ、突発的な休みでも相談しやすい環境に。
- 子供が小さい頃に限らず、育児に必要な時間・休みが確保できるように。
- 予定していた行事・イベントの変更や中止など、あらゆるトラブルにスムーズに対応できるように。

現場の声

【変形労働時間勤務などを利用している営業の田中さん】

子供を優先させてくれるので有難い



以前に勤めていた会社では朝8時から夜の22時ぐらいまで働いて、夜遅く帰ってから家事をして寝るという生活でした。到底子供の気持ちのケアもできていませんでしたが、当時はどうすることもできませんでした。

高校3年の娘の学校が職場と近いこともあり、一緒に帰りながら進路や成績のこと、その日の出来事などを話すことができています。子供の年齢が上がると行事などイレギュラーな休みが必要で、これから大学受験も控えています。すでに娘の受験の際には休ませてもらえるよう調整していただきました。子供のことを優先させてもらえるのは母親にとって本当に有難いことです。おかげで気兼ねなく受験について行けます。

「子供最優先」を掲げるエムアファブリーに勤めだしてからは時間の余裕もできて、精神的にずっと楽になりました。

通勤に片道1時間かかりますが、それを差し引いても有り余るほどの恩恵を頂いています。

